

# 2022年度 岡山大学大学院法務研究科 法学未修者入試A日程 小論文試験 問 題

## <注意事項>

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 配布した物は次のとおりです。
  - ① 問題冊子(本書。表紙を含めて2枚)
  - ② [文章](1～8頁。表紙を含めて9枚)
  - ③ 解答用紙(3枚)
  - ④ 下書き用紙(1枚)
- 3 解答は、解答用紙に鉛筆又はシャープペンを用いて横書きで記入してください。
- 4 解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ず全て提出してください。
- 5 試験終了後、問題冊子、[文章]、下書き用紙は持ち帰ってください。

問題 別添の [文章] を読んで、下記の各設問に解答しなさい。

【設問 1】

レビンソンが整理した Q 推意、I 推意、M 推意のそれぞれの意味を説明した上、下記の [設例] において生じる推意が上記のうちどれに当てはまるか、理由を付して説明しなさい。

(300 字以内、配点は 80 点。)

[設例]

ある会社の店長は、自社の社長へ、アルバイト従業員の退職につき、次のように報告した。

「当店アルバイト従業員の A は、今月末で至極円満に退社することになりました。」

【設問 2】

A は、大学を卒業後、約 10 年の間に不動産会社、損害保険会社、飲食店など勤務先を転々として、大学卒業 11 年後に司法試験に合格した。その後、A は、弁護士資格を取得してから 1 年間、10 名の弁護士が勤務する「甲総合法律事務所」で弁護士として勤務した。この間、A が取り扱った事件のほとんどが交通事故の事案であった。その後、A は、甲総合法律事務所を退職すると同時に「A 法律事務所」を開業した。この事務所に所属する弁護士は A 1 人のみである。開業して半年後、A は、今後の依頼者獲得のために以下の < 広告 > を出すことにした。

A は、< 広告 > を読んだ人がどう受け取ると期待しているか、< 広告 > における具体的な文言を摘示しながら論じた上、広告規制のあり方について、[文章] の筆者の考えを踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

なお、弁護士は「法律事務所」に所属して弁護士活動を行う。また、法律事務所は、特定の分野の事件（例えば、医療関係の事件や刑事事件など）を集中して取り扱う事務所もあれば、幅広い分野の事件を取り扱う事務所もある。

(800 字以内、配点は 120 点。)

< 広 告 >

離婚、相続、不動産取引問題などなど…

「A 法律事務所」は皆様のさまざまな悩みを早期に解決する総合法律事務所です。

経験豊富な私弁護士 A が、皆さんに幸せを運びます！

多くのご依頼者様から「依頼してよかった」とのお言葉をいただいています！

問題以上

※ **出典：** 岡本真一郎「言語の社会心理学」（中公新書・2013年）33頁以下（なお、出題の都合上、一部を省略・加工している。）

**【出題意図】**

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることにある。